

# 未来を考えるレポート 『地域政策フォーラム』VOL. 2

地域政策フォーラム 代表 谷 しんいち

## 都市の防災を考える!! －安心安全なふじみ野づくり－

<http://www.chiikiseisaku.net>

発行：地域政策フォーラム〒356-0030 ふじみ野市新駒林 3-5-15 TEL・FAX 049-203-0605

### 災害は忘れる前にやってくる!?

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、わが国では毎年のように全国各地で様々な大災害が発生し、“忘れる前に”しかも“身近なところ”で起きているように思えます。決して他人事ではなく、いつ自分の身に、そして家族の身に降りかかるかわかりません。先ずは日頃から自らが生活する住宅の安全性を点検しておくことや、周辺地域に潜む危険因子が何であるかを認識しておくことが、防災そして減災につながることだと思います。

### ふじみ野市のハザード対策

写真1・2は、台風18号が通過する前日の9月15日午前9時の254号バイパス下の増水した福岡江川と冠水してしまった市道のアンダーパスの状況です。



写真  
1



写真  
2

ふじみ野市では、今年の2月に地域防災計画の一部見直しが行われ、帰宅困難者対策、放射性物質の事故対策、お年寄りや障がい者など災害時に自力での避難を困難とする人をサポートする災害時要援護者の支援制度が盛り込まれました。

安心安全な地域社会をつくるためには、この地域防災計画を基本にマンパワーを中心としたソフトの構築と都市基盤を柱とするハードの整備の両面で地域の特性に合ったハザード対策が必要だと思います。

### ソフトの重要性

平成7年に起きた阪神淡路大震災では、倒壊した家屋などで約3万5千人が生き埋めになってしまい、その生き埋めとなった要救助者うち7割の方（約2万8千人）が地域住民によって救出され、残りの3割の方（約7千5百人）が警察や消防、自衛隊などの行政機関によって救出されたと言われています。

これは、緊急車両が救出に向かっても道路が瓦礫で塞がれて現場に到着できなかったり、同時多発的に災害が発生した場合には、救助能力が分散されて本来の能力が発揮できなかったからです。

この教訓から、いざという時は現場にいる人自身が、そして地域住民が救援者になることも意識して防災や救命に関する知識を深めていくことが重要になってきています。

そのためにも日頃から自治会や町会などの活動を通じて地域コミュニティ形成を図っていくことや学校教育の中で防災教育や救命講習を積極的に行い、“自分の命は自分で守る”そして“命の大切さ”を教えていくことが重要だと思います。

## 急務なハード対策

災害に強いまちづくりには、地域の特性を勘案して都市基盤整備を行っていかなければなりません。

かつては水害と言えば、河川流域の低地での被害を想定していましたが、近年は都市部においてもゲリラ豪雨による内水氾濫で建物の浸水被害がでています。その都市型の水害対策として調整池の整備や雨水浸透樹の設置助成が求められます。

震災対策としては、建築基準法改正前の昭和56年5月31日以前に建てられた建物の耐震診断、耐震改修の補助をさらに推進していくとともに、高齢化率の高い住宅密集市街地では公園などのオープンスペースを確保していくことが不可欠です。本来、密集市街地の面的な整備はベストですが、早急な対策としては狭い道路をピンポイントで拡げ、待避スペースを設けて緊急車両の出入りをよくすることが求められます。

また住宅のブロック塀の高さ制限を設け、一定の高さ（概ね60cm）以上は生け垣かフェンスで、かき、さくとする地区計画制度の導入は防災、減災に有効性を発揮します。



▲9月15日、雨水を溜め込む駒林調整池

## 道路は血管、交通は血液

ふじみ野市は、昭和30年代からの高度経済成長とともに急激に人口が増加し、都市基盤整備が追い付かないまま市街地が形成されてしまいました。そのため大事な血管、血液となる道路交通体系が十分に機能していない地域も存在し、平時でも交通渋滞箇所や交通危険箇所が多くあります。

現在、国道254号線の川越街道は第1次緊急輸送道路と指定され、大規模な地震等の災害が発生した場合に救命活動や物資輸送を行うため、一般車両の通行は制限されることになります。そのため、川越街道に並行し、代替する機能をもつ道路の整備が重要であり、ふじみ野市、富士見市、三芳町の2市1町を結ぶ、都市計画道路の竹間沢・大井・勝瀬線が、その位置づけになってくると思います。ふじみ野市の東台小周辺の道路は未整備ですが、隣接自治体は部分開通しているため、放置できない路線です。

安心安全なふじみ野づくりのためには、大事な血管となる道路網の整備が急務になってくると思います。



「地域政策フォーラム」へのご意見、ご要望をお聞かせください。

まちづくり14年 子どもたちの見守り6年  
現場の声を待ったなし!!

### ◎ 谷しんいちプロフィール

□昭和33年12月19日、ふじみ野市生まれ、54歳。会社役員。

□地元小・中、巣鴨高、法政大学経営学部卒業。明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了。

□ふじみ野市都市計画審議会委員、ふじみ野市住居表示整備審議会会長、富士見都市計画土地区画整理組合連合会会长、ふじみ野市立さぎの森小学校PTA会長などを歴任。

□現在、ふじみ野市駒林土地区画整理組合理事長、JAいるま野総代、土地区画整理士、防災士。

□家族は妻と中学生の娘の三人暮らし。

□趣味は、ラグビー観戦、渓流釣り、まちの散策

□座右の銘『一隅を照らす』

